

# 平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年7月31日

株式会社フコク 上場会社名

上場取引所

コード番号 5185 URL http://www.fukoku-rubber.co.jp/

表 者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河本 次郎

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務本部長 (氏名) 木村 尚

(TEL) 048-615-1700

四半期報告書提出予定日

平成29年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 :無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

# 1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日~平成29年6月30日)

#### (1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利	益	経常利	益	親会社株主 する四半期	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	18, 475	5. 0	850	1. 7	894	45. 2	530	27. 9
29年3月期第1四半期	17, 587	△4. 3	836	△28.8	615	△50.0	414	△47. 7
(注) 匀压利益 30年 3 日期	第1 加半期	476百-	万四( —	06) 20年	3日脚笋1皿	坐扣 /	/445百万田(	<b>— 06)</b>

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	32. 01	_
29年3月期第1四半期	24. 83	24. 83

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	65, 702		
29年3月期	65, 153	35, 712	51. 4

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 33,709百万円

29年3月期 33,485百万円

# 2. 配当の状況

		年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計		
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭		
29年3月期	_	10.00	_	10.00	20. 00		
30年3月期	_						
30年3月期(予想)		10.00	_	10.00	20. 00		

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日~平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利:	益	親会社株主 する当期紅		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	35, 000	△0. 2	1, 100	△27.8	1, 200	△3.9	800	△9.1	48. 30
通期	72, 000	1.9	2, 900	△6.4	3, 100	△7.9	2, 100	△1.7	126. 79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### ※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料 P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無② ①以外の会計方針の変更 : 無③ 会計上の見積りの変更 : 無④ 修正再表示 : 無

# (4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期1Q	17, 609, 130株	29年3月期	17, 609, 130株
30年3月期1Q	1, 046, 028株	29年3月期	1, 046, 028株
30年3月期1Q	16, 563, 102株	29年3月期1Q	16, 687, 901株

- ※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。添付資料  $P.2 \Gamma 1.$  当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

# ○添付資料の目次

1.当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(四半期連結損益計算書)	
(第1四半期連結累計期間)	5
(四半期連結包括利益計算書)	
(第1四半期連結累計期間)	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

#### 1. 当四半期決算に関する定性的情報

#### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期におけるグローバルの経済情勢を見ますと、米国トランプ政権の政策運営に対する不透明感や朝鮮 半島情勢の緊張感、各地におけるテロへの不安感などが影を落としていたものの、総じて改善傾向あるいは堅調な 様相を呈しました。

我が国におきましては、企業業績の底堅さや株高、個人消費の持ち直しなどを背景に景況感は緩やかな回復傾向を示しましたが、一方で中小企業を中心とした人手不足、あるいは海外政治情勢の不透明感や地政学的リスク等への懸念もあり、予断を許さない状況が続いております。

当社グループの主要顧客先である自動車産業におきましては、米国市場における販売の頭打ちなどエリア毎の強弱はあるものの、グローバル全体で生産を伸張させております。

このような状況下、当社グループの受注状況も概ね好調に推移し、連結売上高は前年同期比5.0%増の184億75百万円、営業利益は同1.7%増の8億50百万円、経常利益は同45.2%増の8億94百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同27.9%増の5億30百万円となりました。経常利益の増は主として為替差損の減少によるものです。

#### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末の総資産は、前期末に比べ5億49百万円増加し、657億2百万円となりました。

流動資産は前期末に比べ6百万円増加し、352億21百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加及び受取手形及び売掛金の減少等によるものです。

固定資産は前期末に比べ5億43百万円増加し、304億81百万円となりました。これは主に、有形固定資産の増加等によるものです。

負債は前期末に比べ3億21百万円増加し、297億62百万円となりました。これは主に、短期借入金の増加等による ものです。

純資産は前期末に比べ2億27百万円増加し、359億40百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加及び為替換算調整勘定の減少等によるものです。

以上の結果、自己資本比率は前期末に比べ0.1ポイント減少し51.3%となりました。

#### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期通期の業績予想につきましては、平成29年5月15日発表の数字を変更しておりません。

上記の予想は、現時点で入手された情報に基づき判断したものであり、実際の業績は様々な要因により、上記予想と異なる可能性があります。

# 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

# (1) 四半期連結貸借対照表

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8, 496	8, 796
受取手形及び売掛金	18, 960	18, 338
商品及び製品	3, 226	3, 304
仕掛品	1,011	1, 111
原材料及び貯蔵品	2, 053	2, 141
その他	1, 477	1, 540
貸倒引当金	△10	△11
流動資産合計	35, 215	35, 221
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8, 455	8, 476
機械装置及び運搬具(純額)	10, 099	10, 715
土地	6, 173	6, 196
その他(純額)	2, 903	2,770
有形固定資産合計	27, 632	28, 159
無形固定資産		
その他	856	820
無形固定資産合計	856	820
投資その他の資産		
投資有価証券	794	824
その他	655	677
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1, 449	1, 501
固定資産合計	29, 938	30, 481
資産合計	65, 153	65, 702

(里	<u>V</u> .	:	白	力	円	)

		(単位・日ガ刊)
	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10, 058	10, 038
短期借入金	7, 551	7, 966
未払法人税等	626	460
賞与引当金	654	412
その他	4, 302	4, 611
流動負債合計	23, 193	23, 489
固定負債		
長期借入金	2, 722	2, 690
退職給付に係る負債	1,863	1, 880
役員退職慰労引当金	790	800
その他	871	902
固定負債合計	6, 247	6, 273
負債合計	29, 440	29, 762
純資産の部		
株主資本		
資本金	1, 395	1, 395
資本剰余金	1, 576	1, 576
利益剰余金	30, 845	31, 209
自己株式	△951	△951
株主資本合計	32, 866	33, 230
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	153	169
繰延ヘッジ損益	△1	1
為替換算調整勘定	467	308
その他の包括利益累計額合計	619	479
非支配株主持分	2, 226	2, 230
純資産合計	35, 712	35, 940
負債純資産合計	65, 153	65, 702

# (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

		(単位:百万円)
	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日
	至 平成28年6月30日)	至 平成29年6月30日)
売上高	17, 587	18, 475
売上原価	14, 330	15, 182
売上総利益	3, 256	3, 292
販売費及び一般管理費	2, 420	2, 442
営業利益	836	850
営業外収益		
受取利息	11	8
受取配当金	2	3
持分法による投資利益	19	16
その他	34	74_
営業外収益合計	68	103
営業外費用		
支払利息	33	25
為替差損	245	27
その他		6
営業外費用合計		59
経常利益	615	894
特別損失		
投資有価証券評価損	2	_
特別損失合計		<u> </u>
税金等調整前四半期純利益	613	894
法人税、住民税及び事業税	194	252
法人税等調整額	△81	40
法人税等合計	112	292
四半期純利益	500	601
非支配株主に帰属する四半期純利益	86	71
親会社株主に帰属する四半期純利益	414	530

# (四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

		(単位:百万円)_
	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	500	601
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△28	15
繰延ヘッジ損益	2	3
為替換算調整勘定	△903	△134
持分法適用会社に対する持分相当額	$\triangle 17$	△9
その他の包括利益合計		△124
四半期包括利益		476
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	$\triangle 429$	389
非支配株主に係る四半期包括利益	△16	87

# (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記) 該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

#### (税金費用の計算)

一部の連結子会社における税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期 純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じ て計算しております。